

「設計実務に使える木造住宅の許容応力度計算」【訂正箇所】

P.10

「最高高さ16m以下、かつ、」の条件を削除

「最高高さ16m超、または、」の条件を削除

図1 建築基準法6条

<改正前>

	木造以外		木造		特殊建築物で、かつ、その延べ面積が200㎡超
	延べ面積200㎡超		最高高さ13m以下、かつ軒高9m以下、かつ、延べ面積500㎡以下	最高高さ13m超、または軒高9m超、または延べ面積500㎡超	
階数3以上	3号建築物	2号建築物	2号建築物	2号建築物	1号建築物
階数2	3号建築物	4号建築物	2号建築物	2号建築物	1号建築物
平屋	4号建築物	4号建築物	2号建築物	2号建築物	1号建築物

<改正後>

	最高高さ16m以下、かつ、延べ面積200㎡以下	最高高さ16m超、または、延べ面積200㎡超	特殊建築物で、かつ、その延べ面積が200㎡超
	階数2以上	2号建築物	1号建築物
平屋	3号建築物	2号建築物	1号建築物

図2 建築基準法20条

<改正前>

規模／高さ		高さ13m以下、かつ、軒高9m以下	高さ13m超、60m以下、または、軒高9m超	高さ60m超
4階建て以上	3階建て	簡易な構造計算（許容応力度計算）	高度な構造計算（許容応力度等計算、保有水平耐力計算、限界耐力計算）	時刻歴応答解析
	2階建て			
	以下			
		500㎡超	500㎡以下	仕様規定

<改正後>

規模／高さ		高さ16m以下	高さ16m超、60m以下	高さ60m超
4階建て以上	3階建て	高度な構造計算（許容応力度等計算、保有水平耐力計算、限界耐力計算）	高度な構造計算（許容応力度等計算、保有水平耐力計算、限界耐力計算）	時刻歴応答解析
	2階建て			
	以下			
		300㎡超	300㎡以下	仕様規定

「または、軒高9m超」の条件を追加

「等」を追加

「限界耐力計算」を追加

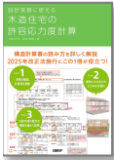
P.11

表2 基準案の「ZEH水準等」の必要壁量と構造計算

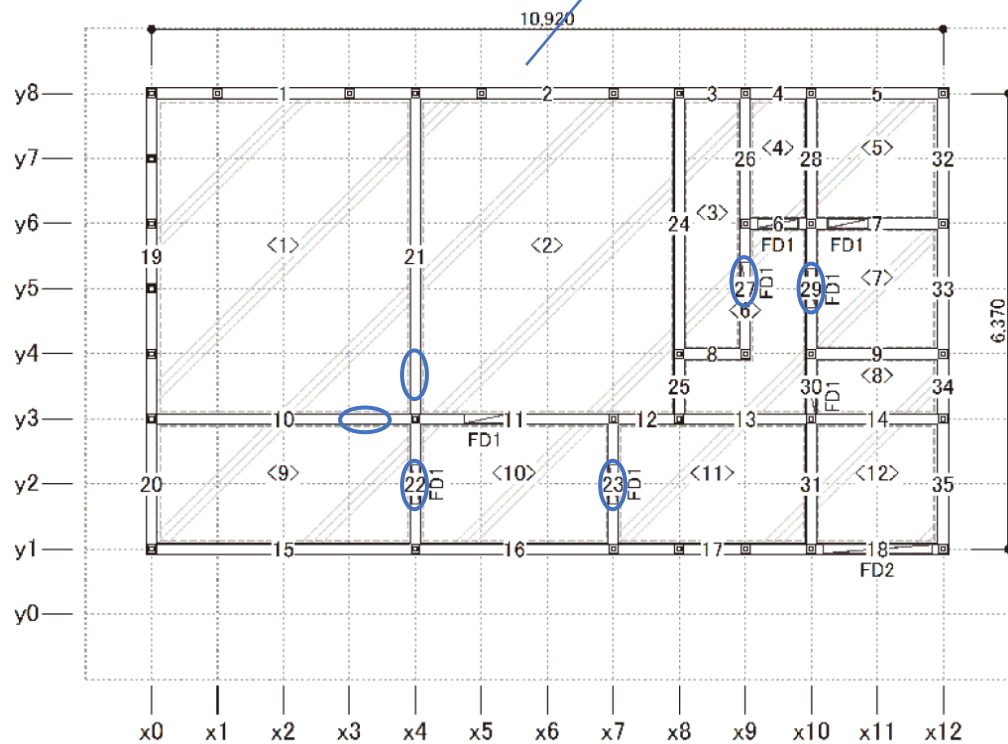
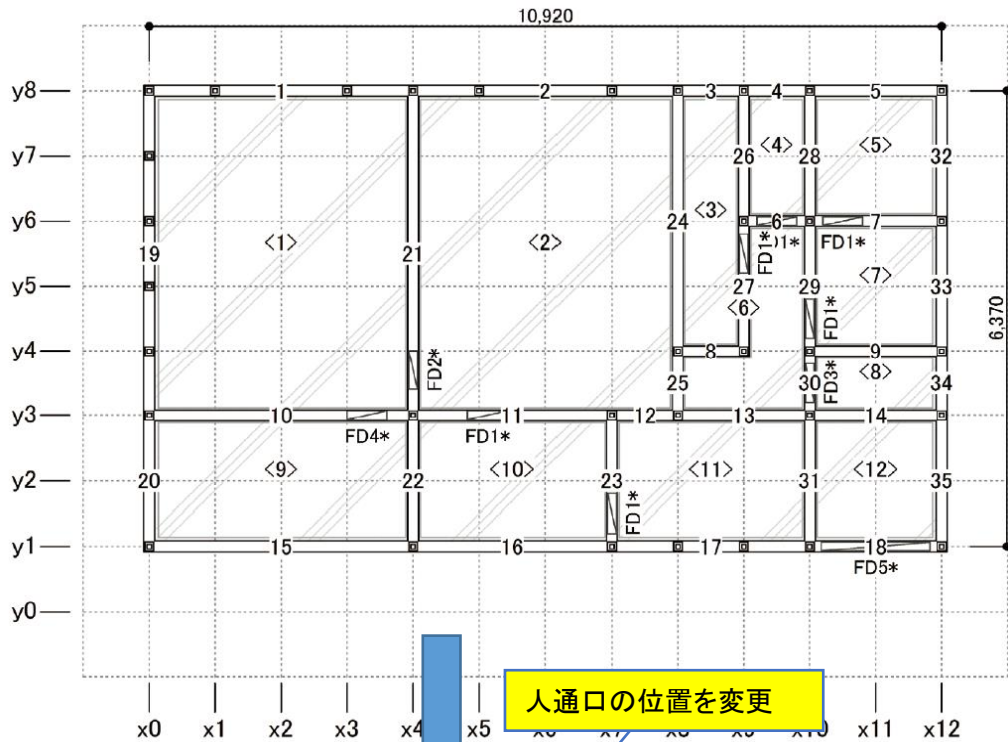
規模／高さ	平屋			2階建て		
	200㎡以下	200㎡超 300㎡以下 (新2号建築物)	300㎡超 (新2号建築物)	300㎡以下 (新2号建築物)	300㎡超 (新2号建築物)	3階建て (新2号建築物)
	高さ16m以下 (新3号建築物)	高さ16m以下		高さ16m以下		
一般の場合	・壁量(方法①)を満たす ・壁量以外の仕様規定	・壁量(方法①)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算	・壁量(方法①)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算	・壁量(方法①)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算	・壁量(方法①)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算	・壁量(方法①)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算
	・壁量(方法②)を満たす ・壁量以外の仕様規定	・壁量(方法②)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算	・壁量(方法②)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算	・壁量(方法②)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算	・壁量(方法②)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算	・壁量(方法②)を満たす ・壁量以外の仕様規定 ・許容応力度計算
	・方法③を適用（許容応力度計算+偏心の検討、Co=0.3の計算または層間変形角の確認） ・壁量以外の仕様規定					
施行令46条2項を適用する場合（集成材等建築物）	・許容応力度計算+偏心の検討、Co=0.3の計算または層間変形角の確認 ・壁量以外の仕様規定					

ヘッダーの罫線が消えていた

「構造計算」を
「許容応力度計算」に変更



P.23



P.32

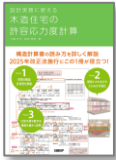
表3-1-12 木材以外の材料の許容応力度 (2)鉄筋の許容応力度の種類の表記を訂正

(2)鉄筋の許容応力度

種類	長期に生じる力に対する 許容応力度(N/mm ²)			短期に生じる力に対する 許容応力度(N/mm ²)			基準強度 (N/mm ²)	備考
	圧縮	引っ張り	せん断	圧縮	曲げ	せん断		
SD295	195	195	195	295	295	295	295	

誤) SD295A

正) SD295



P.38

2 使用構造材料一覧表

2.1 使用構造材料一覧表

(1) 木材以外の場合

材料	設計基準強度 又は品質	使用部位	認定 の有無	木材以外の仕様 「コンクリート」「鉄筋」 などを確認
普通コンクリート	Fc21	基礎	無	
異形鉄筋	SD295	基礎	無	
ボルト	基準強度438N/mm2	アンカーボルト	無	

ボルトの基準強度を「235」→「438」N/mm2に変更

2.1 使用構造材料一覧表 (2)木材の場合 の表を下の表に差し替え

(2) 木材の場合

材料	規格	等級	樹種	使用部位	備考
構造用製材	製材の日本農林規格	E70	すぎ	床梁、母屋・棟木、 小屋梁、軒桁、胴 差、登り梁	機械等級
構造用製材	製材の日本農林規格	E90	ひのき	大引、土台	機械等級
構造用製材	製材の日本農林規格	E110	べいまつ	胴差	機械等級
無等級製材	無し		すぎ	垂木、柱	
無等級製材	無し		ひのき	柱	

P.94, 96

7.4.1 鉛直構面の地震力、風圧力に対する検定 ■各鉛直構面の検定、■階全体の検定

検定

■各鉛直構面の検定

通り	地震力			風圧力		
	検定比	地震力	検定	検定比	風圧力	検定
		QEj Qaj			QWj Qaj	
y8	0.55	OK		0.33	OK	
y6	0.54	OK		0.32	OK	
y4	0.56	OK		0.32	OK	
y3	0.58	OK		0.33	OK	
y1	0.60	OK		0.33	OK	

QEj、QWj、Qajの「j」の下部が欠けていた

検定

■階全体の検定

地震力			風圧力		
検定比	地震力	検定	検定比	風圧力	検定
	$\frac{\sum QEj}{\sum Qaj}$			$\frac{\sum QWj}{\sum Qaj}$	
	0.56	OK		0.33	OK

P.135

図8.1-2 荷重と曲げモーメント図の集中荷重の式を訂正

誤)

$$M_{max} = \frac{P \cdot L^2}{4}$$

正)

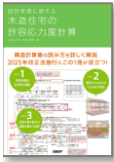
$$M_{max} = \frac{P \cdot L}{4}$$

P.139

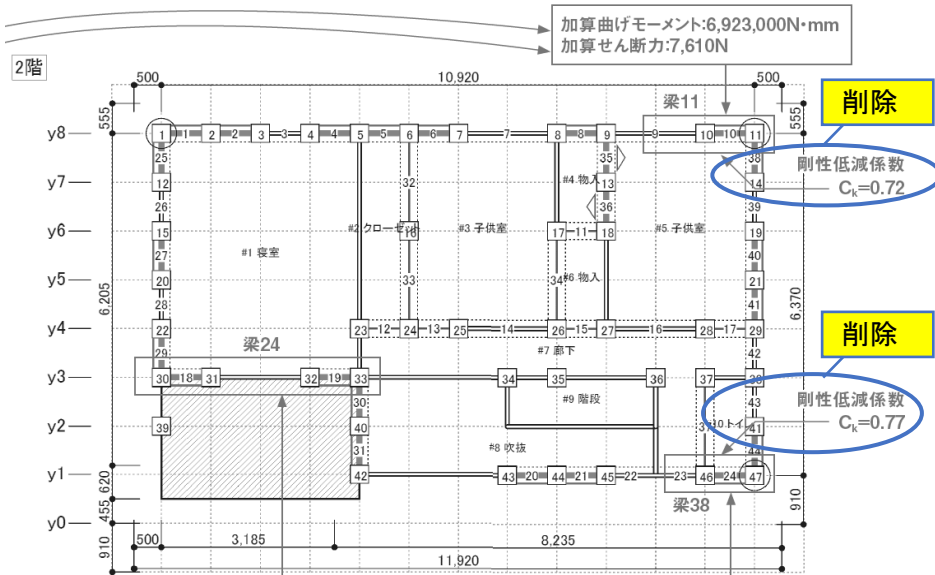
表8.1-5 断面欠損がある場合の断面係数の表の表記を訂正

誤) 断面欠損がある場合の断面係数

正) 断面欠損がある場合の低減係数概算値



P.159



P.162

8.3.8 梁の検定(せん断) 補足の赤字部分を小数点に訂正

8.3.8 梁の検定(せん断)

【1階】

梁No	樹種記号	梁幅(mm)	梁せい(mm)	検定位置	接合部記号	① Q:せん断力				② 検定比 Q/Qa				
						長期 [常時]	長期 [積雪時]	短期 [積雪時]	短期	長期 [常時]	長期 [積雪時]	短期 [積雪時]	短期	
22	A	105	105	端部1	J1	0.944	-	0.944	-	0.40	OK	-	0.28	OK
				端部2	-	0.944	-	0.944	-	0.20	OK	-	0.14	OK
23	A	105	105	端部1	-	0.944	-	0.944	-	0.20	OK	-	0.14	OK
				端部2	J1	0.944	-	0.944	-	0.40	OK	-	0.28	OK
24	B	105	360	端部1	J2	11.447	-	12.567	19.607	0.86	OK	-	0.65	OK
				中間部	-	-	-	-	19.607	-	-	-	-	-
				端部2	-	11.447	-	12.567	19.607	0.48	OK	-	0.36	OK
25	B	105	360	端部1	T1	6.983	-	7.831	9.793	0.60	OK	-	0.47	OK
				端部2	-	6.833	-	8.001	8.243	0.31	OK	-	0.25	OK
26	B	105	360	端部1	-	0.590	-	0.590	-	0.03	OK	-	0.02	OK
				端部2	-	0.590	-	0.590	-	0.03	OK	-	0.02	OK

誤)

$$\frac{11,447}{24,020}$$

正)

$$\frac{11.447}{24.020}$$

B) 横架材端接合部の検定 A) 横架材断面の検定 A) 横架材断面の検定

樹種記号:「8.3.1 横架材の仕様(樹種・寸法)と許容せん断耐力」を参照
接合部記号:「8.3.2 横架材の継手・仕口の仕様」を参照
(スパン)の端部が横架材の中間部である場合は「-」となる。

① せん断力Q:「5.4.1 柱軸力、梁負担荷重の計算」の「梁の負担荷重、荷重伝達」を参照。
対称オス接合部の梁材への伝達荷重合計と等しい。

梁上耐力壁によるせん断長期のせん断力に計算

$$\frac{Q}{Qa} = \frac{11,447}{24,020} = 0.48$$

P.167

8.4.3 鉛直荷重のみ受ける柱の検定(座屈の検定) 補足の赤字文字を削除

8.4.3 鉛直荷重のみ受ける柱の検定(座屈の検定)

■ 検定対象

柱番号	25	柱の位置	1階 x8,y4
樹種	無等級製材すぎ		

■ 寸法情報

断面寸法		断面積	座屈長さ		断面	② 有効細長比	
面内方向 (mm)	面外方向 (mm)	A (mm ²)	水平力 時	その他 用	2次半径 i (mm)	水平力 時	その他 用
105	105	11,025	2,695	2,695	30.31	88.92	88.92

① $A = a \times b$

$i = \sqrt{(\text{断面2次モーメント}/A)} = b/\sqrt{12}$

② $\lambda = l_k/i$

①、②を削除